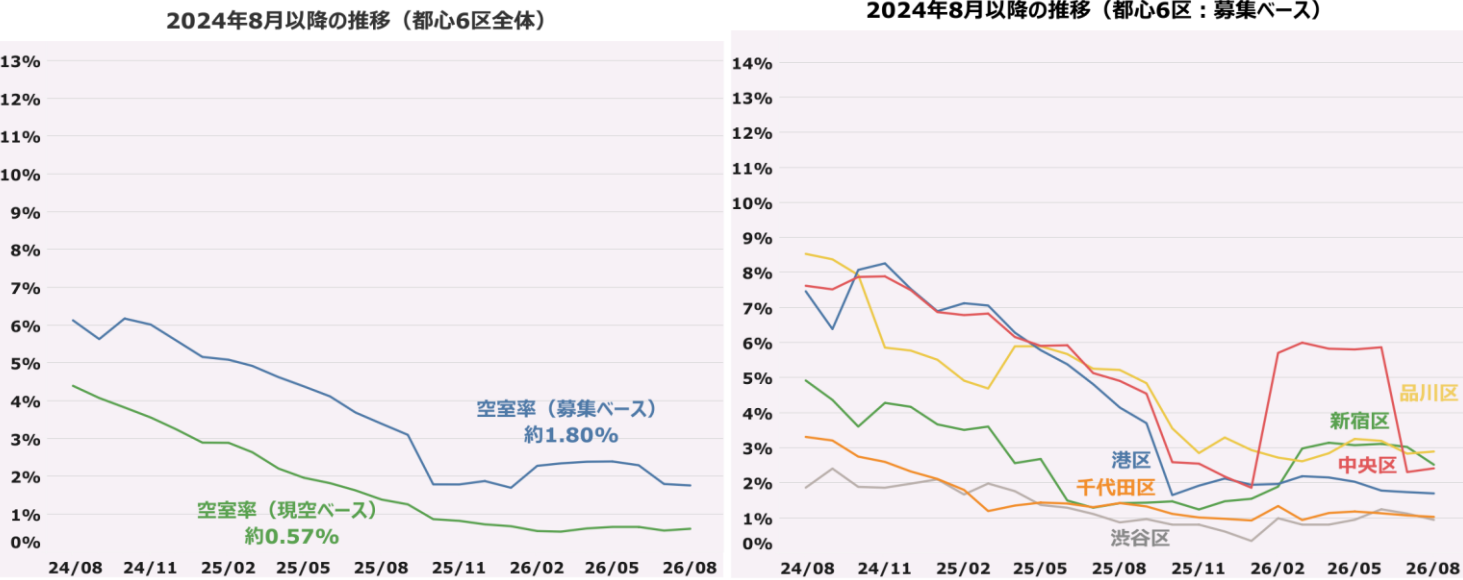


オフィスマーケット情報 2026年10月号

1. 都心6区の空室率の推移

- 募集ベース(※1)、現空ベース(※2)の空室率はともに低位安定が継続。
- 中央区では主要大型新築ビルにおいて7月に1万坪超の募集床面積減少がみられ、空室率が大幅に低下した。その後は他区を含め大きな変動はみられず、都心6区全体では概ね横ばいで推移している。



(出所)社内データベースを基に三菱UFJ信託銀行が作成
集計対象:東京都心6区(千代田区・中央区・港区・新宿区・渋谷区・品川区)、基準階面積300坪以上(旧耐震および未竣工を除く)の賃貸オフィスビル
(※1)募集ベース:現在空室となっている物件、および今後空室となる予定の物件を合わせて空室とした基準 (※2)現空ベース:現在空室となっている物件のみを空室とした基準
データ・見解等は作成日時点において入手可能な情報に基づき作成したものです、その正確性・完全性・妥当性を保証するものではありません

3. 東京23区 | 帰宅困難者向け施設情報の公表状況(3項目比較)

- 発災時は東京都や各区市町村等が公表する開設情報の確認が重要。
BCPや従業員への安全確保への関心が高まる中、一時帰宅困難者向け施設は、都市の防災力を測る重要な指標となっている。
- 23区すべてで施設名・所在地を公表し、基本情報へのアクセスは確保されている。
一方、開設状況・各施設の設備情報など、災害時の受入体制に関する詳細情報の公開範囲は各自治体で異なる。

帰宅困難者向け施設(帰宅困難者受入施設等)とは、大規模地震等の発生時に帰宅困難者を一時的に受け入れ、一斉帰宅の抑制を通じて混乱の軽減と災害応急活動の円滑化を図るための施設である。

比較項目	東京23区																						
	千代田	中央	港	新宿	渋谷	文京	台東	墨田	江東	品川	目黒	大田	世田谷	中野	杉並	豊島	北	荒川	板橋	練馬	足立	葛飾	江戸川
情報の探しやすさ 一覧画面で主要情報が完結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
開設状況 災害時の開設・閉鎖表示	○	○	○	-	○	○	△	-	-	-	-	○	-	△	-	○	○	○	-	-	○	-	○
各施設の設備情報 電気・水道・トイレ・Wi-Fi等	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(出所)プレスリリースを基に三菱UFJ信託銀行が作成 データ・見解等は作成日時点において入手可能な情報に基づき作成したものです、その正確性・完全性・妥当性を保証するものではありません

・本資料に記載している見解等は本資料作成時における見解等であり、経済環境の変化や相場変動、税制等の変更によって予告なしに内容が変更されることがあります
・本資料は、「不動産の鑑定評価に関する法律」に基づく鑑定評価書ではありません
・本資料は、特定の有価証券の価値等に関する助言又は金融商品の価値等の分析に基づく投資判断に関する助言を目的とするものではありません
・本資料は、当社が公に入手可能な情報に基づき作成したものです、その内容の正確性・完全性を保証するものではありません
・本資料の著作権は三菱UFJ信託銀行株式会社に属します 従いまして、本資料のお取扱いには貴社限りにてお願い申し上げます